

図2 九重山 火山活動経過図(1995年10月12日~2007年7月31日)

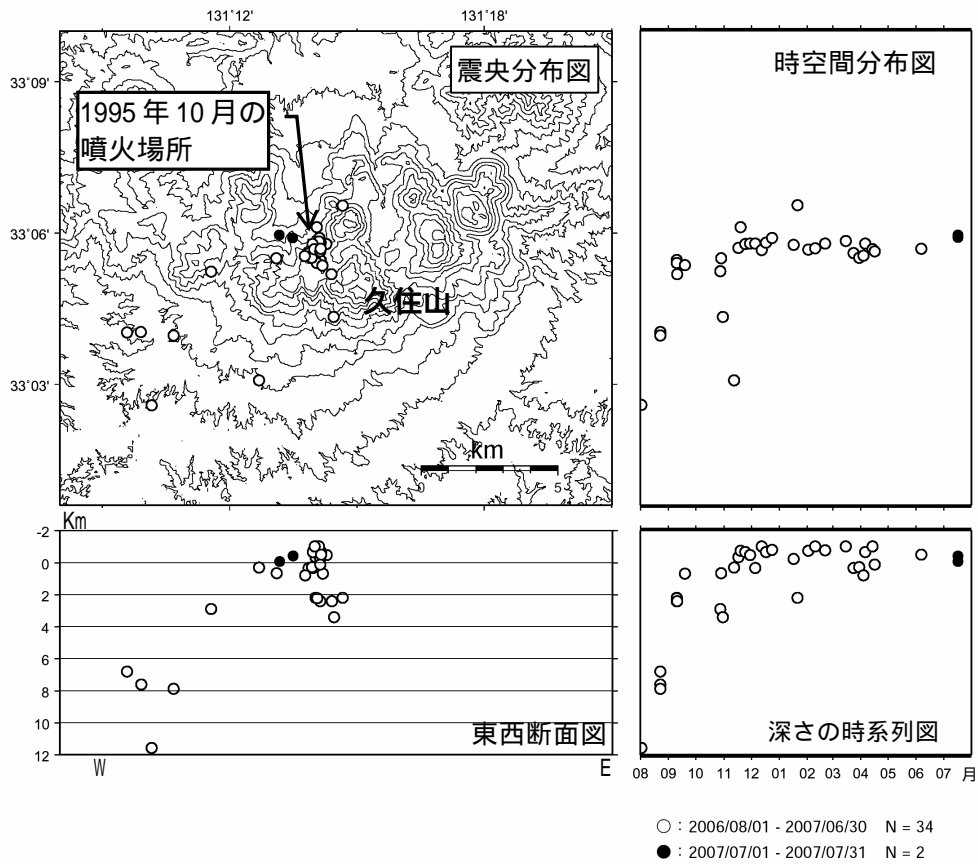


図3 九重山 震源分布図(2006年8月1日~2007年7月31日)  
2007年7月は山体付近の浅いところに2個震源が決まりました。

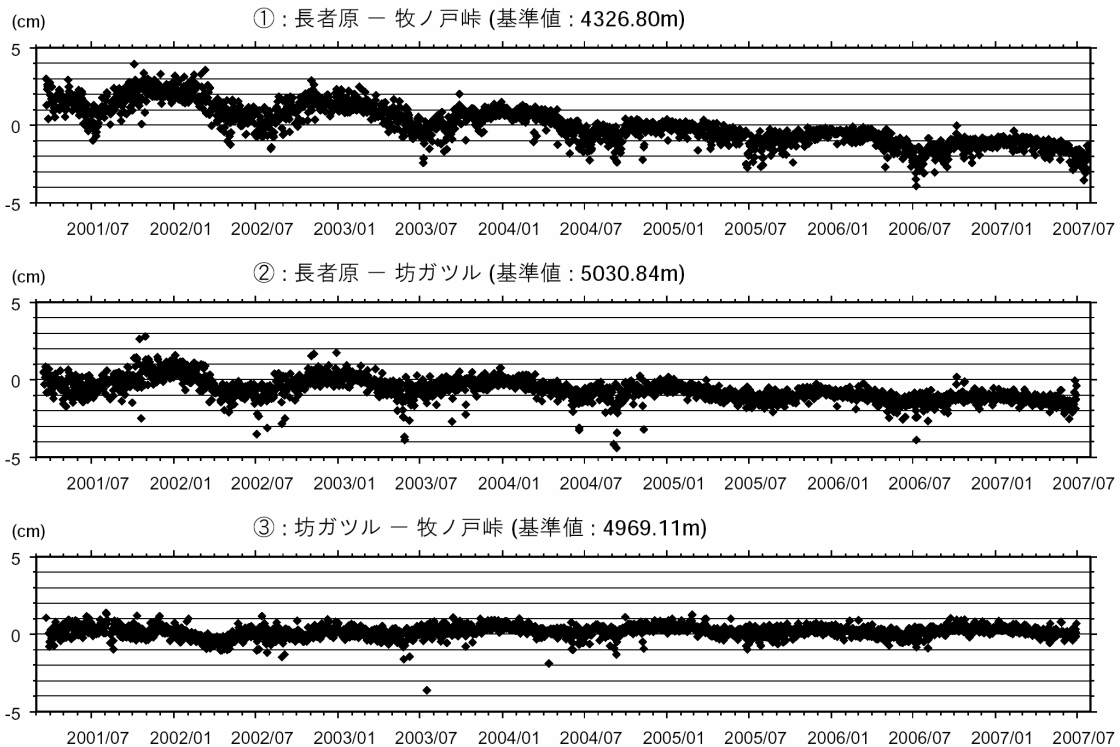


図4 九重山 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月1日~2007年7月31日)  
GPSによる連続観測では、長者原 牧ノ戸峠の基線長は、1995年から1996年噴火後の火山ガスの放出に伴うと考えられる長期的な縮みの傾向が見えます。  
坊ガツル観測点は、データ回収が遅れています。